

## 2025年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年9月11日

上場会社名 VALUENEX株式会社  
 コード番号 4422 URL <http://valuenex.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 中村 達生

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO (氏名) 鮫島 正明 TEL 03 (6902) 9833

定時株主総会開催予定日 2025年10月30日 配当支払開始予定日 -

有価証券報告書提出予定日 2025年10月30日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年7月期の連結業績（2024年8月1日～2025年7月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期	690	△12.1	△73	-	△73	-	△82	-
2024年7月期	786	11.6	4	△87.3	5	△84.3	3	△90.8

(注) 包括利益 2025年7月期 △82百万円 (-%) 2024年7月期 9百万円 (△76.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年7月期	△28.93	-	△11.0	△7.7	△10.6
2024年7月期	1.21	1.17	0.4	0.6	0.6

(参考) 持分法投資損益 2025年7月期 -百万円 2024年7月期 -百万円

(注) 2025年7月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失金額であるため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年7月期	911	709	77.5	247.93
2024年7月期	1,007	789	78.1	277.13

(参考) 自己資本 2025年7月期 706百万円 2024年7月期 786百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年7月期	△114	△1	2	708
2024年7月期	28	△1	△0	826

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年7月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2026年7月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00		-	

3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

2026年7月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であると判断したため記載しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年7月期	2,902,200株	2024年7月期	2,893,300株
2025年7月期	53,500株	2024年7月期	54,000株
2025年7月期	2,843,955株	2024年7月期	2,839,300株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は同日にTDnetで開示及び当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	5
連結損益計算書 .....	5
連結包括利益計算書 .....	5
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	6
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(1株当たり情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは「世界に氾濫する情報から”知”を創造していく」ことをミッションとし、他に類のない自然言語処理・類似性評価・2次元可視化・指標化等の技術により、さまざまな文書情報を用いた各種の解析サービスを提供しております。

当連結会計年度における我が国経済は、内需及びインバウンド需要の回復など、社会活動の正常化の動きがみられました。一方で、国際情勢不安、円安の進行、物価上昇など、景気動向についてもいまだ予断を許さない状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、引き続き国内及び海外におけるコンサルティングサービス及びASPサービスのさらなる販売拡大に取り組みました。新規案件の受注は順調だったものの、北米大手顧客の内3社の社内体制の変更とトランプ関税の影響、一部案件の成約が遅延していることにより、海外におけるコンサルティングサービスの成果は一部翌期に持ち越しとなりました。また、営業活動等で必要な人材の採用を行いまして、採用は3名となり、人材や生成AIを活用したサービスの研究開発への投資コスト、業務委託費が増加いたしました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は690,858千円（前年同期比12.1%減）、営業損失は73,387千円（前年同期は営業利益4,915千円）、経常損失は73,687千円（前年同期は経常利益5,951千円）、親会社株主に帰属する当期純損失は82,265千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益3,432千円）となりました。

なお、当社グループはアルゴリズム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

主なサービス別の状況は以下のとおりであります。

#### (a) コンサルティングサービス

当連結会計年度におけるコンサルティングサービスの売上高は、355,689千円（前年同期比21.9%減）でありました。

#### (b) ASPサービス

当連結会計年度におけるASPサービスの売上高は、325,767千円（前年同期比1.4%増）でありました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は850,598千円となり、前連結会計年度末に比べ87,869千円減少いたしました。これは仕掛品が14,314千円、売掛金が13,511千円、その他流動資産が1,431千円増加し、現金及び預金が117,126千円減少したことによるものであります。

当連結会計年度末における固定資産は60,923千円となり、前連結会計年度末に比べ7,816千円減少いたしました。これは投資その他の資産が4,663千円、減価償却等によって有形固定資産が3,152千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ95,685千円減少し、911,522千円となりました。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は202,468千円となり、前連結会計年度末に比べ15,070千円減少いたしました。これは主にその他流動負債が17,848千円減少し、前受金が1,982千円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における固定負債はありません。

この結果、負債の残高は、前連結会計年度末に比べ15,070千円減少し、202,468千円となりました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は709,054千円となり、前連結会計年度末に比べ80,614千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純損失が82,265千円計上されたことと、資本剰余金が1,123千円増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて117,126千円減少し、708,887千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、支出した資金は114,534千円となりました。（前連結会計年度は28,915千円の収入）これは主に税引前当期純損失73,687千円の計上、その他の流動負債の減少25,646千円、棚卸資産の増加14,535千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、支出した資金は1,424千円になりました。(前連結会計年度は1,133千円の支出)これは有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、獲得した資金は2,237千円となりました。(前連結会計年度は435千円の支出)これは主に株式の発行による収入1,918千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期(2026年7月期)においても、国内及び海外におけるコンサルティングサービス及びASPサービスのさらなる販売拡大に取り組んでまいります。特に、ASPサービスを更に成長させるため、引き続き開発の強化が重要課題と考えており、そのための開発投資を行ってまいります。

一方で、トランプ関税や国際情勢等、当社グループの業績に与える影響が依然として不透明であることから、現時点で損益の合理的な予測が困難な状況となっております。以上の状況から、次期の連結業績予想につきましては未定とさせていただきます、今後の業績への影響を慎重に見極め、開示可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当連結会計年度 (2025年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	826,014	708,887
売掛金	71,395	84,907
仕掛品	2,722	17,036
その他	38,336	39,767
流動資産合計	938,467	850,598
固定資産		
有形固定資産		
建物	54,827	54,756
減価償却累計額	△13,858	△16,359
建物(純額)	40,968	38,396
工具、器具及び備品	38,217	39,522
減価償却累計額	△34,286	△36,172
工具、器具及び備品(純額)	3,930	3,349
有形固定資産合計	44,899	41,746
投資その他の資産		
その他	23,841	19,177
投資その他の資産合計	23,841	19,177
固定資産合計	68,740	60,923
資産合計	1,007,208	911,522
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,874	5,136
リース債務	36	-
前受金	164,588	166,571
未払法人税等	719	290
その他	48,319	30,470
流動負債合計	217,538	202,468
負債合計	217,538	202,468
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	81,244	82,220
資本剰余金	728,687	729,810
利益剰余金	△16,919	△99,184
自己株式	△22,500	△22,291
株主資本合計	770,511	690,554
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16,352	15,729
その他の包括利益累計額合計	16,352	15,729
新株予約権	2,805	2,771
純資産合計	789,669	709,054
負債純資産合計	1,007,208	911,522

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
売上高	786,381	690,858
売上原価	188,264	161,703
売上総利益	598,116	529,154
販売費及び一般管理費	593,201	602,542
営業利益又は営業損失(△)	4,915	△73,387
営業外収益		
受取利息	18	2,682
為替差益	586	-
その他	449	34
営業外収益合計	1,054	2,716
営業外費用		
支払利息	18	1
為替差損	-	2,941
その他	-	73
営業外費用合計	18	3,016
経常利益又は経常損失(△)	5,951	△73,687
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	5,951	△73,687
法人税、住民税及び事業税	2,518	△518
法人税等調整額	-	-
過年度法人税等	-	9,096
法人税等合計	2,518	8,577
当期純利益又は当期純損失(△)	3,432	△82,265
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	3,432	△82,265

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	3,432	△82,265
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,224	△623
その他の包括利益合計	6,224	△623
包括利益	9,657	△82,888
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,657	△82,888

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	81,244	728,687	△20,352	△22,500	767,078
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			3,432		3,432
新株の発行 (新株予約権の行使)					
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	3,432	-	3,432
当期末残高	81,244	728,687	△16,919	△22,500	770,511

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	10,128	10,128	2,805	780,012
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				3,432
新株の発行 (新株予約権の行使)				
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	6,224	6,224	-	6,224
当期変動額合計	6,224	6,224	-	9,657
当期末残高	16,352	16,352	2,805	789,669

当連結会計年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	81,244	728,687	△16,919	△22,500	770,511
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△82,265		△82,265
新株の発行(新株予約権の行使)	976	976			1,952
自己株式の処分		147		208	356
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	976	1,123	△82,265	208	△79,957
当期末残高	82,220	729,810	△99,184	△22,291	690,554

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	16,352	16,352	2,805	789,669
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△82,265
新株の発行(新株予約権の行使)				1,952
自己株式の処分				356
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△623	△623	△34	△657
当期変動額合計	△623	△623	△34	△80,614
当期末残高	15,729	15,729	2,771	709,054

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	5,951	△73,687
減価償却費	4,789	4,473
受取利息	△18	△2,682
支払利息	18	1
売上債権の増減額(△は増加)	△43,697	△11,542
棚卸資産の増減額(△は増加)	5,345	△14,535
仕入債務の増減額(△は減少)	△396	1,299
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,870	8,904
前受金の増減額(△は減少)	39,706	2,800
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△8,424	△10,821
その他の流動負債の増減額(△は減少)	17,544	△25,646
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△3,157	4,510
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△350	-
小計	15,440	△116,926
利息の受取額	18	2,682
利息の支払額	△18	△1
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	13,475	△288
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,915	△114,534
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,133	△1,424
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,133	△1,424
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	-	1,918
自己株式の処分による収入	-	356
リース債務の返済による支出	△435	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435	2,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,886	△3,405
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	32,233	△117,126
現金及び現金同等物の期首残高	793,780	826,014
現金及び現金同等物の期末残高	826,014	708,887

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当連結会計年度の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
1株当たり純資産額	277.13円	247.93円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	1.21円	△28.93円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	1.17円	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	3,432	△82,265
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	3,432	△82,265
普通株式の期中平均株式数(株)	2,839,300	2,843,955
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加額(株)	83,670	—
(うち新株予約権(株))	(83,670)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。